

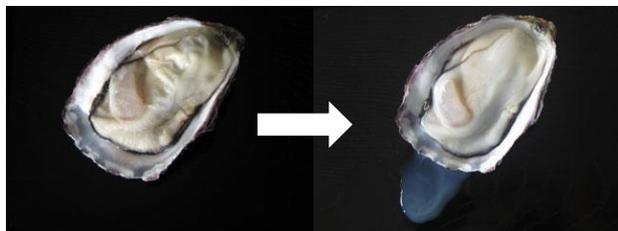
姫路発の水産技術を「東ティモール」へ

水産業の6次産業化による東ティモールの貧困層の生活向上

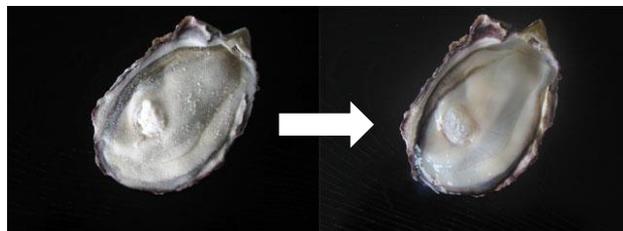
国際協力機構(JICA)は、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」において有限会社播磨海洋牧場(兵庫県姫路市、向井昭博 代表取締役社長)が提案する「はりかい式高品位水産物生産とグローバル・フードバリューチェーン事業に関する案件化調査」(東ティモール)を採択しました。

2002年にインドネシアの占領から独立した東ティモールでは、石油とコーヒー関連以外の産業が発達していません。7割もの国民が農漁業に従事していますが、しっかりとした産業化には至っておらずその半数以上は貧困層です。

有限会社播磨海洋牧場は、独自の水産加工技術と流通、販売実績(この一貫した流れを総称して「はりかい式技術」と呼ぶ)を有しており、シンガポール、タイ、香港などの高級レストランに食材を提供しています。この「はりかい式技術」による新たなビジネスチャンスの獲得と貧困層が多い漁業関係者の所得向上による社会的格差の縮小を目指します。



一般的冷凍加工品の解凍の一例(ドリップ多い)



はりかい式冷凍加工品の解凍例(ドリップ無)

今回、国内市場/漁業関係者の生活実態/インフラ整備状況/法制度の把握・分析、ビジネス機会の確認などを目的に調査を実施します。

なお、本調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」(注)として実施され、今後の契約交渉後、契約に至ったものから、順次調査を実施します。

(注) 案件化調査は、2012年度から実施されており、今回は全国で36件が採択。

参考:(プレスリリース)案件化調査2017年度第1回公示の採択結果について

https://www.jica.go.jp/announce/notice/investigation/ku57pq00001yndld-att/investigation_170308_result.pdf

【本件に関する問い合わせ先】
JICA 関西 企業連携課 担当 伊藤
TEL 078-261-0397 e-mail : Ito.Noriyuki@jica.go.jp